

甲佐町議会だより



清流

第185号

令和5年(2023)6月1日発行

発行 甲佐町議会

発行責任者 議長 宮本 修治

3月定例会

新体制による議会構成	②～③
3月定例会の審議結果など	④～⑤
令和5年度当初予算	⑥
そこが知りたいQ&A	⑦
一般質問(4人)ここが聞きたい	⑧～⑪
未来へのつばさ	⑫

桜とともに
青空へ

議長に 宮本

修治 氏

臨時議会

(初議会)

令和5年3月1日



就任あいさつ

議長 宮本 修治

議員改選後の初議会が、3月1日に招集された。まず、臨時議長により議長の選挙を実施、次に新議長による議席の決定、副議長の選挙を行ったあと、各常任委員会、議会運営委員会、一部事務組合等議員、議会広報編集特別委員会、議会活性化調査特別委員会の各委員及び議会選出の監査委員を選任し、新しい11人の議員による議会構成のもとに、新体制がスタートした。

町民の皆様におかれましては、町議会に対し、ご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

このたび議員改選後の議会構成を決める臨時会（初議会）における、議長選挙において、多数の支援を得て議長に就任しましたことは、身に余る光栄と存じますとともに、議決機関である議会の長の責任の重さをひしひしと感じ、身の引き締まる思いでもございます。

現在、本町は少子化により人口1万人割れが目前の状態にあり、少子化対策、子育て支援、定住促進は重要な課題であります。

人口減少、少子高齢化社会において、企業・誘致や農業、商工業の振興、更には、医療・

福祉・教育の充実など課題が山積しております。

私たち議会は本来の使命である、執行機関の監視及び評価、多様化する住民ニーズを的確に捉えた政策立案・提言の機能を果たすとともに、執行機関と互いに協力し、本町の発展に努めなければなりません。

町民の皆様の負託を受けた11名の議員各位と研鑽を積み、会話と議論を重ね、皆様の期待にお応えできるよう、努めてまいる所存でございます。

今後とも、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。議長就任のごあいさついたします。



副議長に

荒田

博

氏を選任

新体制による議会構成

総務文教 常任委員会



鳴瀬 美善 委員長

副委員長 本田 新
委員 井芹しま子
委員 福田 謙二
委員 宮本 修治
委員 森田 精子

産業厚生 常任委員会



宮川 安明 委員長

副委員長 荒田 博
委員 佐野 安春
委員 田中 孝義
委員 甲斐 良二

議会運営 委員会



荒田 博 委員長

副委員長 本田 新
委員 宮川 安明
委員 鳴瀬 美善

議会運営委員会 特別委員会



甲斐 良二 委員長

副委員長 佐野 安春
委員 森田 精子
委員 鳴瀬 美善
委員 田中 孝義

議会活性化調査 特別委員会



本田 新 委員長

副委員長 鳴瀬 美善
委員 議長を除く
全議員で構成

監査委員 (議会選出)

森田 精子

御船地区衛生施設組
合議会議員
(し尿処理)

本田 新
宮川 安明

御船町甲佐町衛生施
設組合議会議員
(ごみ処理)

福田 謙二
鳴瀬 美善

上益城消防組合議会
議員

田中 孝義
甲斐 良二

上益城広域連合議会
議員

宮本 修治
荒田 博

後期高齢者医療広域
連合議会議員

宮本 修治

令和5年第1回(3月)定例会

3月定例会は、3月10日に開会し、15日までの6日間の会期で開催した。

上程された議案は、人事案件1件、同文議決案件1件、条例案件6件、財産の取得の変更及び無償譲渡案件3件、令和4年度一般会計及び各特別会計補正予算、令和5年度一般会計及び各特別会計予算、その他の案件で審議の結果、すべて原案のとおり可決した。

一般質問には、4議員が学校教育、防災・防犯事業、地域振興、環境施策、福祉施策などについて活発な議論を展開した。

審議結果

区 分	議 案 名	審議結果
同意第2号	甲佐町教育長の任命に付き同意を求めることについて	同 意
議案第5号	熊本市及び甲佐町における連携中枢都市圏の形成に係る連携協約の一部変更について	可 決
議案第6号	甲佐町個人情報保護法施行条例の制定について	可決(反対2)
議案第7号	甲佐町債権の管理に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	可決(反対2)
議案第8号	甲佐町課設置条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
議案第9号	甲佐町認可地縁団体印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
議案第10号	甲佐町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
議案第11号	甲佐町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
議案第12号	財産の取得の変更について	可 決
議案第13号	財産の無償譲渡について	可 決
議案第14号	財産の無償譲渡について	可 決
議案第15号	令和4年度甲佐町一般会計補正予算(第8号)	可 決
議案第16号	令和4年度甲佐町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可 決
議案第17号	令和4年度甲佐町介護保険特別会計補正予算(第2号)	可 決
議案第18号	令和4年度甲佐町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	可 決
議案第19号	令和5年度甲佐町一般会計予算	可決(反対2)

議案第20号	令和5年度甲佐町国民健康保険特別会計予算	可決(反対2)
議案第21号	令和5年度甲佐町介護保険特別会計予算	可決(反対2)
議案第22号	令和5年度甲佐町後期高齢者医療特別会計予算	可決(反対2)
議案第23号	令和5年度甲佐町水道事業会計予算	可決
発議第3号	甲佐町議会の個人情報保護に関する条例の制定について	可決
発議第4号	甲佐町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可決

人事関係

甲佐町教育長に田上 浩輝氏(宮内地区出身)



蔵田勇治教育長が令和5年3月31日で退任することから、田上浩輝氏を教育長に任命することに同意。

同文議決関係

議案第5号 熊本市及び甲佐町における連携中枢都市圏の形成に係る連携協約の一部変更

熊本市との連携協約にホームページ情報の広域的な発信の連携事業を追加。

条例関係

議案第6号 甲佐町個人情報保護法施行条例

議案第7号 甲佐町債権の管理に関する条例等の一部改正

デジタル社会の形成を図るための関係法令の施行に伴い、条例の制定・改正・廃止をしたもの。

議案第8号 甲佐町課設置条例の一部改正

企画課に地域振興課を統合し、児童福祉に関する事項を住民生活課から福祉課に移管したもの。

議案第9号 甲佐町認可地縁団体印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正

民法の一部改正に伴い、認可地縁団体印鑑の登録を受けることができる者を規定したもの。

議案第10号 甲佐町国民健康保険条例の一部改正

出産育児一時金の改定を行ったもの。

議案第11号 甲佐町後期高齢者医療に関する条例

熊本県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の一部改正に伴い改正したもの。

財産関係

議案第12号 財産の取得の変更

甲佐町立小・中学校パソコン及び電子黒板購入事業における購入物の減少に伴い、契約額を26万8400円減額したもの。

議案第13号・第14号 財産の無償譲渡

行政区の公民館用地として利用されている町所有の土地を船津区・田原区にそれぞれ無償譲渡するもの。

予算関係

令和4年度各会計予算の補正後の額は次ページに掲載。

議案第15号 令和4年度甲佐町一般会計補正予算(第8号)

主な補正は、財政調整基金から減債基金へ資金の移動を行ったもの。

議案第16号・第17号・第18号 各会計補正予算

主な補正は、事業実績見込みにより補正を行ったもの。

令和5年度 当初予算を可決 114億6994万円

会 計 名		予 算 額	前年度比
一 般 会 計		78億6691万円	112.9
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業	14億9451万円	99.8
	介 護 保 険 事 業	16億 254万円	101.5
	後 期 高 齢 者 医 療 事 業	1億8667万円	104.2
水 道 事 業 （ 公 営 企 業 会 計 ） （収益的支出額と資本的支出額の合計）		3億1931万円	103.2
合 計		114億6994万円	108.9

（金額は1万円未満を四捨五入しています）

令和4年度 補正予算を可決 4455万円 減額

会 計 名		補 正 額	補正後の総額
一 般 会 計		△1億1568万円	85億7756万円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業	5984万円	15億7680万円
	介 護 保 険 事 業	1288万円	16億5176万円
	後 期 高 齢 者 医 療 事 業	△159万円	1億7893万円
水 道 事 業 （ 公 営 企 業 会 計 ） （収益的支出額と資本的支出額の合計）		—	3億1429万円
合 計		△4455万円	122億9334万円

（金額は1万円未満を四捨五入しています）

そこが知りたいQ&A

3月定例会
質疑から

県道三本松甲佐線について

A 県道三本松甲佐線のバイパス化について町長にお尋ねする。



県道三本松甲佐線 井戸江峡付近

Q バイパス化の件については、これまで県道三本松甲佐線の期成会を通じて要望をしているところである。本年3月8日の県議会一般質問の中で質問があり、県土木部長の答弁として、このバイパス化についての概算設計の費用については令和5年度予算に盛り込んであるという回答があった。非常にありがたい思いで聞かせて頂き、ようやく現実に向けて一歩進んだという思いだ。

今後もし引き続きその事業の推進化に向けて重ねて要望を行っていききたいと思う。

中学校の部活動社会体育移行について

Q 令和7年度から社会体育に移行するということであるが、国・県からの指導は。また、町としてはどのように考えておられるか。

A 小学校については、平成29年末にはすべて社会体育に移行している。現在、中学校について社会体育に移行する方向性が示されており、令和4年11月にガイドラインが創設された。

主な内容としては、まず休日における地域の環境整備を着実に推進することとし、休日の社会体育移行について取り組んでいく。令和5年度から令和7年度までの3年間で改革集中期間として、可能な限り早期実現を目指す。



社会体育への移行が進む中学校の部活動

マイナンバーカード普及率について

Q 3月時点での普及率は。

A 2月末現在で交付率が63.9%となっている。ただし、マイナンバーカードの対象となるカード交付の締め切りが2月末のため、申請が殺到した。交付されていないが申請率に関しては80%を超えている。



GIGAスクール構想の ICT機器導入後について

教育長 創意工夫し、一人一人の学びの保障に取り組む



議員 二 良 斐 甲

問 導入後の活用状況については。

吉岡学校教育課長

各学校において電子黒板やタブレットなどを常に活用し授業を行っている。家庭への持ち帰りもでき、災害時や新型コロナウイルス等の非常時などには画像が映し出されるズームの機能を活用し、モデル授業を配信したり児童生徒の健康状態を観察するなど幅広い活用ができています。

問 成果及び課題については。

吉岡学校教育課長

これまで人前で話すことが苦手だったり、不登校気味だった児童生徒が、タブレットを通じて自分の考えをまとめて発表したり、友達同士や教師と児童生徒間の円滑な関係が

構築され、考え方にも幅を持つことができるようになった。課題としては、先生は生徒の自主的な学びをサポートしてより高いレベルへ引き上げることが重要だと考える。

問 eーライブラリーやロイロノートなどの学習支援ソフト使用時の通信環境についてはどうだったのか。また、有害サイトへのアクセスはなかったか。

吉岡学校教育課長

通信については、携帯電話と同様のLTE回線を採用しており、通信障害もなく比較的安定した状態での使用ができています。

有害サイトへのアクセス制限についても懸念し注視しており、フィルタリングによる制限を行い、閲覧制限、追加アプリケーションソフトのダウンロード禁止などを直接設定している。

毎月の各端末のデータ使用料を確認して早期に見えたり、未然に防いだり速やかな対処を行っている。

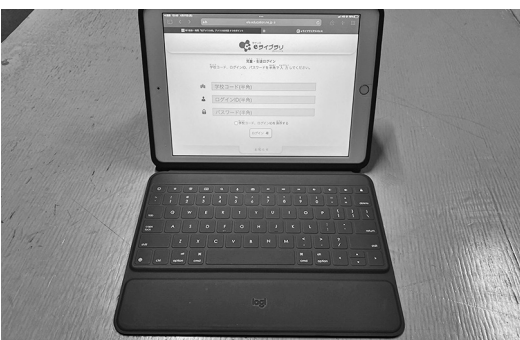
問 様々な理由によって学校に登校することのできない児童生徒の学びの保障はなされ

たか。

蔵田教育長

GIGAスクール構想の目指すところは、全ての児童生徒一人一人に最もふさわしい教育を志向した「誰一人取り残すことなく、子ども達に個別最適化され、創造性を育む教育ITC環境の実現」にある。

一例を挙げれば、不登校の児童生徒についても、学校が配信する授業を家庭で視聴して授業に参加したり、ロイロノートで学校から個別に課題を送り児童生徒はその指導を受けるなどの取り組みを行っている。また、適応教室においてもタブレットPCを用いて学習に取り組んできた。



タブレットPC

問 多様化、広域化、巧妙化する強盗犯罪に対応する為防犯カメラの増設の考えは。

永井くらし安全推進室長

昨年「防犯カメラの適正な設置及び運用に関する条例」を制定したことで、町内通学路等に4台の防犯カメラを設置した。昨今の犯罪は、複雑化、多様化、に「凶悪・狂暴化」が加わり社会問題になっている。

町民の生命・身体・財産を守り安全で安心して暮らせるまちづくりの実現のためには、今後も必要箇所への防犯カメラの設置は必要不可欠だと考える。

防犯カメラの整備について



こちらから全質問を視聴いただけます。

一般質問

ふるさと甲佐応援寄附金 約14億円の使途は

町長 将来的な財政負担の軽減に繋がる財源確保



鳴瀬 美善 議員

問 ふるさと甲佐応援寄附金の推移は。

北野総務課長

平成20年度から取り組んでおり、平成27年度までは年間100万円前後で推移し、平成28年の熊本地震発生後においては、1000万円を超え、令和2年度に約9400万円、令和3年度には5億1900万円、本年度においては、13億5000万円を想定している。

問 寄附金を対象とする事業は。

北野総務課長

大きくは、環境・防犯・防災・保健・福祉・教育そして、町長が必要と認める事業の7つがある。

問 町長が必要と認める事業として、今後計画されているものがあるのか。

奥名町長

新たな事業を恒久的に続けていく財源としては非常に注意が必要だと思う。性質的にも難しい面もあるが、総体的には将来的な財政負担の軽減に繋がる財源確保を念頭に活用していく。

社会福祉の充実

問 高齢者等の免許返納の状況と支援策は。

永井くらし安全推進室長

平成30年度から令和4年3月までの5年間で143人の方が御船署に免許を返納されている。

古閑企画課長

返納者への町の支援はないが、民間のバス事業者の方では、対象路線が半額で利用できる免許返納者割引乗車証がある。

問 美里町で導入されている小型のセダンタイプやワゴンタイプのコミュニティバスの導入や乗り入れは。

古閑企画課長

美里バスは、集落と地域拠点4カ所を結ぶもので、全体で26路線あるが、毎日の運行ではなく週に2回、午前11便、午後11便となっている。美里町とは、包括連携協定を締結しているが、コミュニティバスの直接乗り入れや、連携した取り組みの検討は行っていない。



小型で小廻りのきく美里バス

安心・安全なまちづくり

問 河川のしゅん濇計画は。

志戸岡建設課長

本年度は12河川のしゅん濇を計画している。実施時期は、10月から5月を予定している。

問 災害が起きるのは6月から8月の時期と考える。早い時期に取りかかるべきではないか。

志戸岡建設課長

梅雨が始まる6月までに、状況を見て実施したい。

問 大井手川（用水）のしゅん濇について、町管理の南谷川や湯田川の流末の受け皿であり、土地改良区への支援は。

志戸岡建設課長

市街地の浸水被害を軽減する上でも大井手の管理、しゅん濇は重要なことだと思っている。土地改良区とも協議をしていく。



こちらから全質問を視聴いただけます。

新会社に影響を与える 出資とは

町長 環境アセスを進めないと詰めの話はできない



佐野 安春 議員

問 上益城地域におけるエネルギー回収施設（ゴミ・産廃焼却処理場）設置問題について質問を行う。出資を行うことで監視ができると事業概要の説明文書があるが、監視ができる根拠をわかりやすく示して頂きたい。

白石環境衛生課長

これは今後の検討課題だ。環境アセスメントが進められ事業化された後に、はつきりと決まってくることになる。

問 最近出された新会社のシムファイブスの計画段階環境配慮書の中でも「一部出資も可能」と書かれている。出資については幅広く考えられると思うが、どれくらいの出資で新会社に影響を与えることが可能と考えるのか。

奥名町長

環境アセスメントを進めないと具体的な詰めの話はできないと思う。環境アセスメントが現在の計画ではまだ3年間やらなくてはならない。これからの段階だと思う。

出資については、おそらく全国的にも事例があるはずだ。最終的な詰めの数値についてはこれからだと思うが、5町連合が持っている借地があるというのが一つある。



御船町上野のエネルギー回収施設
（焼却処理場）建設予定地

あと一つは出資をすることだが、これは民間事業者と行政側との信頼関係の下に成り立たなければならぬので多いなる歯止めになると理解している。

今後、納得するような形で協議に臨んでいくし、5町の

考え方を整理した上で相手側とは協議し良い方向にもっていくという考えがある。

陣の内城跡と周辺部の活用

問 陣の内城跡の紹介チラシには周辺の文化財などとして松尾城跡、やな場、鶴ノ瀬堰、甲佐神社が載せられている。また、周辺部に位置する清正公山は新甲佐町史に何度もその歴史的いわれなどが記載されて価値あるものと考へる。清正公山は岩鼻神社からの道が一部に崩落があり、通行には危険なため通行止めとなっている。神社までの道も亀裂があり傷みがひどいと感じる。先人から引き継がれた財産が災害によって放置状態になったままの状態は大変残念なこと。また、山頂付近からの眺めも町中心部が一望でき、町民の皆さんが散歩など楽しめる場所だった。陣の内城の整備と併せて周辺施設や文化財の活用が必要と考えるがどうか。

後藤社会教育課長

陣の内城跡の保存活用計画の計画範囲は陣の内城跡が中心となる。しかし、甲佐神社

や松尾城跡、鶴ノ瀬堰、やな場、清正公山など町内には多数の文化財が点在している。陣の内城を語る上で欠かせない視点である。そうした意味からこれらの陣の内城跡周辺の施設や文化財についても町の観光拠点や地域活動の場として位置付けるためにも史跡指定地を中心とした広域的な範囲も視野に入れた計画としたい。



こちらから全質問を
視聴いただけます。

一般質問

全国で発覚している 不適切保育問題での町の対応は

住民生活課長 町長名での虐待防止徹底の文書配布



井芹 しま子 議員

問 子供を巡る環境、安心して子育てできる環境の充実に向けて、全国の保育現場での虐待、不適切な保育が次々と発覚している問題について聞く。この問題は大きな社会問題となっているが、その背景には、保育士不足や処遇問題、国の保育士配置基準の低さから来る過重負担、加えてコロナ対応といった業務負担の増加など浮き彫りになっている。この背景を考えるとどこでも起こりうる問題と考える。

橋本住民生活課長 保育施設にあって、子どもの人権を尊重し、子ども一人ひとりの大切な幼児期の発達を補償していく為のこの問題に対する町の対応は。

全国で相次いだ不適切な保育事案に対する対応について、昨年12月に町内5園を訪問、

町長名の虐待の発生防止徹底についての文書を届けている。また、不適切な保育の未然防止及び発生時の対応についてのセルフチェックリストの活用を求めるとともに、虐待や不適切な保育事案が発生した場合、情報を正確に収集し、改善に向けて県とともに助言指導に当たることになっている。

少子化問題での町の対策は

問 2022年の全国の出生数が、統計開始以来初めて80万人を割り込んだ。2017年、国立社会保障人口問題研究所の推計では、2022年の出生数を85万4000人と見込んでいたが、急速に少子化が進んでいる。本町においても、2017年には89名だった出生数が2023年には49人と大きく減少している。町としての今後の動向、対策について聞く。

橋本住民生活課長

今後の動向として、出生数は減少するものの、総人口に占める年少人口の割合は微増していくと予想している。出生数を増やす取り組みとして、家庭と地域の連携による仕事

と育児の両立や相談体制の充実など、結婚、出産、子育てまでの一貫した各種支援の充実を人口ビジョンの中であげた。

子育て総合支援施設設置の考えは

問 結婚、妊娠、出産、子育てなどの不安や悩みが相談できる場、また交流の場、親子で遊べる場、不登校の子供さんたちの居場所、子ども食堂などの開催ができる場など、子育て全般に係る拠点づくりはできないのか。

橋本住民生活課長

質問の拠点施設とは若干異なるが、結婚期から子育て期にわたる切れ目ない支援を提供する目的の子育て世代包括支援センターの設置を準備をしている。また、児童福祉に関し、必要な支援を行う拠点として子ども家庭総合支援拠点の設置も準備を進めている。

進めぬ交通弱者対策の課題はなにか

問 この問題ではたびたび質問をさせて頂いている。近隣町村、美里町や嘉島町、益城

町など多くの自治体が実施している中で、本町においては年数を要しているが、進めぬ大きな課題があるのか。

古閑企画課長

令和元年度に基礎調査をおこない、利用者の方々の調査、また、近隣の公共交通についても追加の調査を行っており、甲佐町の実情に合った新たな移動手段の確保に向けて持続可能な事業への転換と云うことでの計画をしており、時間がかかっている。



こちらから全質問を
視聴いただけます。

未来へのつばさ

18歳で選挙権を得るにあたって

熊本県立甲佐高等学校 須藤 日乃華

私は甲佐町に住んでおり、甲佐高校の生徒会長として、毎日頑張っています。また、今年の4月に3年生となり、進路についても深く考えていると思っています。

今回、「18歳で選挙権を得るにあたって」ということを考えてみた時に、私が生徒会で選挙を行った時に、甲佐町から本物の投票箱をお借りし、甲佐高校のみんなから投票してもらって、生徒会長になったことをすぐ思い出しました。そして、甲佐高校が少しでも良くなるように、みんなと協力しながらの活動が大事だと気づかされました。

特に、甲佐高校の魅力をたくさんの人々に伝えるためにも、甲佐町の産業文化祭や熊本県で学校の取り組みを発表してきました。たくさんの方々から質問がありましたが、私たちが日頃取り組んでいることを素直に伝え、理解して下さり、うれしく思いました。

私が選挙権を得る時に大事にしたいのは、地域の人々と連携して少しでも笑顔にできる活動ができる方を選んでいきたいと思っています。私も、毎日の活動は大変ですが、喜んでくれる人が少しでもいれば、頑張れると思うからです。

今後、甲佐高校のためにできることから頑張っていきます。

改選後の議員11人



町民の皆様、議会傍聴をお待ちしています。
お気軽にお越しください。

※令和5年第2回（6月）定例会は、6月9日開会の予定です。

編集後記

本年2月、町議会議員選挙は無投票となった…。

全国的な地方議員のなり手不足の影響があったかの様に思う。改選後に選ばれた我々には、議員としての責任と町民の負託に応えるようより一層努力していかねばならないと決意を新たにしました。

そして今号より編集委員長を務めることとなった。

町民の皆様により分かりやすく親しみやすい議会だよりとなるよう一生懸命頑張っていく。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

（甲斐良二）

議会広報編集特別委員会

委員長	甲斐良二
副委員長	佐野安春
委員	森田精子
委員	鳴瀬美善
委員	田中孝義



甲佐町

議会だより

第185号 2023年6月1日発行

この議会だより「清流」は再生紙を使用しています。